

令和8年度 学校教育方針

1. 学校長より

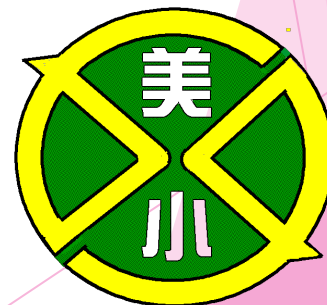
今年度の学校教育の方針や取組について

- 2. 学校行事について
- 3. ICTの活用について
- 4. 授業づくり 校内重点授業研究について
- 5. 特別活動について
- 6. 健やかな体の取組について
- 7. 児童指導について
- 8. 幼保小中連携について



令和8年5月21日(木)

横浜市立美しが丘小学校



2. 学校行事について

西湖・富士山

こどもの国

責任感

カヌー体験



いつもと違う

友達の一面を知る

挑戦

成長

自然散策

自分たちで

助け合う

1・2年 遠足

3年 社会科見学

4・5年 宿泊体験学習

6年 修学旅行

神奈川県警 チーム



高尾

達成感

もっと仲が深まる

思い出



日光

自然や歴史にふれたり、自分たちで活動をつくったりしながら、
よりよい人間関係を育み、自分に自信をもつことができるようになります。

スマイルコンサート

心を動かす音楽って何だろう？

発表後、子どもの振り返りをテキストマイニングで表したもの

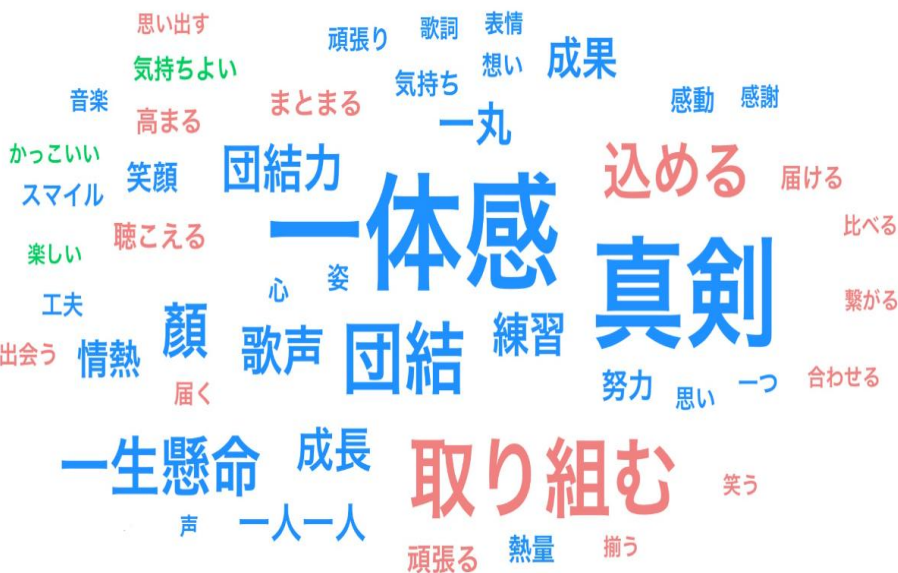
1日目（児童鑑賞）

全校で発表を聴き合うことで、お互いのよさに気づき、高め合うことにつながります。



2日目（保護者鑑賞）

全学年の発表を鑑賞していただくことで、子どもたちにとっても大きな励みになります。



全校遠足（王禅寺ふるさと公園）



6年生が中心になって、遊びを計画したり、時間を守って行動したりします。



いろいろな学年の友達と遊びながら、自分の役割を果たす楽しさを味わいます。



3. ICT (タブレット端末) の活用について

自ら学びを深めていく学習へ

これまでの知識伝達型の『教えてもらう学習』から、児童自身が主体的に学びを深める『自ら探求する学習』を行っていきます。

学校と家庭で進める 情報活用能力の育成

情報社会の現代を生き抜くために、客観的で信頼できる情報を収集・分析し、よりよい解決策を見つけ出す力を育みます。

自主的な
学び

学びの
個別
最適化

学びの
連続性

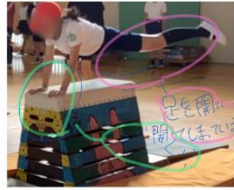
ご家庭でタブレットの活用法やルールを話し合うことは、情報倫理や情報セキュリティに関する意識を高めるきっかけになりますのでぜひ、ご協力ください。

本校のタブレット端末活用事例

ロイロノートによる「可視化」が、自ら課題を設定し、学ぶことにつながる

自分の課題は…

私は大きな開脚跳びの時、手をつく時から足を開いてしまっているので足を伸ばして、跳び箱を超えるときに足を開くようにしたい。



課題を達成するためにどんな練習をしたらよいか

手をつく前から足を開いてしまうことがほとんどで、まだ、一回しか足を閉じたまま跳べることができなかった。次は足を開かないように手をつきたい。
そして、腰や足を床と並行になるようにあげて、跳び箱を超えるときに足を開くことを意識して練習したいです。

- ・自身の動きを映像や画像で確認し、理想の動きとの違いを具体的に理解できることで改善点を発見したり次の課題を設定することができます。
- ・過去の記録と比較することで、自身の成長を客観的に認識できます。
- ・努力の積み重ねが目に見えることで、継続的な取り組みへの意識が高まります。

AIドリル「Monoxer」で、確かな「記憶」を定着させる

- ・学習時間や定着度を「可視化」し、学校でも家庭でも一人ひとりの苦手や進み具合を正確に共有することで、よりきめ細やかな学習指導を実現します。
- ・AIによる「オーダーメイド」の出題により、定着度に応じた最適な反復練習を行います。
- ・「覚えた!」を積み重ねることで、学習意欲の向上へとつなげます。

Monoxerホームページ <https://corp.monoxer.com/>

「書くこと」による学びの価値を損なわないよう、Monoxerを学習のサポートとして活用しつつ、従来の紙ドリルによる書き取り指導も並行して継続していきます。

タブレット端末の持ち帰り

学びの連続性と個別最適化



場所を問わず、自分のペースで学びを深めることができます。

- ・学校で学んだ内容を、その日のうちに家庭でタブレット端末を使って復習したり、関連情報を調べたりすることで、知識の定着を促し、理解を深めることができます。
- ・宿題や課題に取り組む際にも、タブレット端末を通じて学校の教材や参考資料にアクセスできるため、スムーズに学習を進めることができます。



情報活用能力の育成

- ・調べ学習で、複数の情報源を比較検討し、まとめることで、情報収集・評価・整理のスキルが向上します。
- ・「ロイロノート」「classroom」などのオンライン学習ツールを活用して、自分の考えを文章で表現したり、意見交換したりすることで、情報発信・コミュニケーションのスキルが育まれます。

情報リテラシーの育成が情報モラルを守る上で重要な土台となります。

4. 授業づくり・校内重点研 「自ら学びに向かう力」を意識した授業づくり

令和8年度の重点研究の研究主題

協働的な学びから、認め合う姿勢を育む授業づくり
～対話を通じて理解を深め、認め合う姿勢を身に付ける国語科学習～

4つの目指したい子どもの姿

- ①子どもたちが課題を見出し、解決するまでの見通しをもつ
- ②対話を通じて理解を深めていく中で、認め合う姿勢を身に付ける
- ③自己肯定感を高める
- ④協働的に学ぶ楽しさを実感できる

授業づくりを研究していきます。

主体的に・粘り強く

【対話の土台作り】

課題を自分事としてとらえ、
全員が自分の意見をもつための手立て

【安心して発信できる雰囲気作り】

相手の考えを否定せず認め合う、
安心できる雰囲気や環境を作る

【問いを工夫】

答えが一つに絞られず、
多角的・多面的に考えられるような問いを設定

個別最適な学び

【振り返りなどから、自分の変容
・協働的な学びのよさに気付く】

学習の事後での考え方の変化に
子どもたちが気付く。

【「ずれ」を活用】

考えの「ずれ」を引き出すことで、
深い学びにつなげる

認め合う・共感力
自己肯定感を高める

協働的な学びの楽しさを実感するための手立てとは？

5. 特別活動について

自分たちで考えてよりよい学校に

代表委員会・委員会活動

～全校児童での今年度の取組～

4月 第1回 委員会活動(運営委員会)

今年も学校をよりよくする活動にたくさん取り組んでいきたいな。

今年度 特に力を入れて取り組みたいこと

- ①思いやりがいっぱい（いじめをなくしたい）
- ②物を大切にしたい（落とし物を減らしたい）
- ③学校のルールを守ろう（けがなく安全に、安心して）

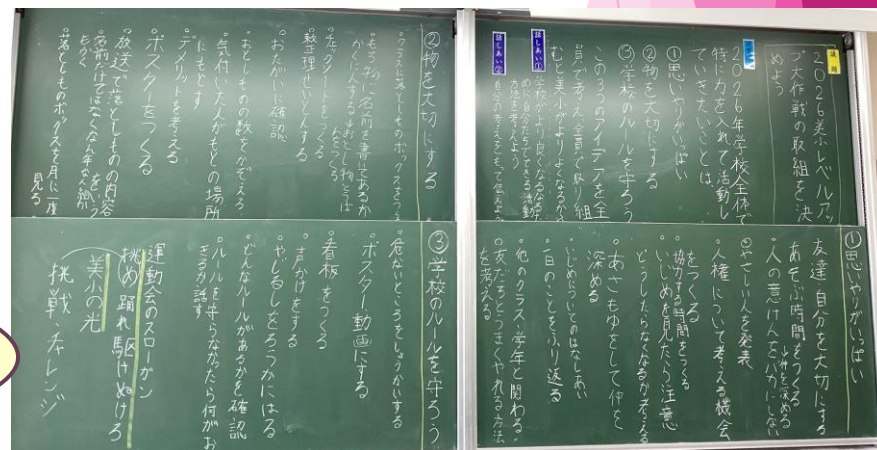
美小 レベルアップ大作戦

代表委員会で出た意見

- ・委員会が中心になって学校全体で取り組む活動
- ・各学年、各クラスで実態に応じて取り組む活動

たくさんの意見が出たね。この中から自分たちにできそうな活動を全校のみんな考えて取り組んでいきたいね。

全部の活動を運営委員会だけで取り組むのは難しいな。
全校のみんなでどんな取り組みができるか考えるために代表委員会で提案してみよう。



たてわり活動「もゆるんタイム」の充実

たてわり活動では、時期や発達の段階に応じた目指す姿を設定しています。また、下級生は上級生の活動の仕方も意識して活動しています。活動後には、振り返りを行い、1年間の自分の成長を振り返ることができるようにしています。

【2年生の振り返り】

6年生は こまている子や なやんでいる子にやさしく声をかけてあげるところがすごいです。わたしがまよっている時やこまている時にすぐに気づいてくれて、やさしく教えてくれました。わたしも6年生のような人になりたいです。

【6年生の振り返り】

みんなをまとめたり、ゲームなどを企画したりすることはとても大変ではあったと同時に、とても楽しかったです。下級生のみんなも話をきちんと聞いてくれたり、支えてくれたりしてくれたので、安心してたてわり活動を行うことができました。



6年 たてわり
実行委員 発足



体力テスト 全校遠足



1～5年生
6年生ありがとうの会 打合せ

ペア学年
校内作品
鑑賞交流

4月

6月

10月

12月

2月

3月

一年生を
迎える会

たてわり班
顔合わせ

6年生ありがとうの会